

指定管理業務総合評価票

施設名	詫間町松崎コミュニティセンター
指定管理者名	特定非営利活動法人まちづくり推進隊詫間
施設所管課	総務部 管財課
調査日時	令和7年 3月 31日(月): 10時 30分～ 11時 30分

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	B	B
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	B	B
		スタッフのシフトは適正であるか	B	B
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	B	B
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	B	B
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	B	B
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	B	B
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	B	B
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	B	B
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	B	B
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等をおこなっているか	B	B
		避難経路は適切に確保されているか	B	B
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	B	B
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	B	B
		個人情報保護に関する規定が整備されているか	B	B
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	B	B
	情報公開	情報公開に関する規定が整備されているか	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	B	B
	【1 総括】	実施体制に関する評価(標準19項目・本施設19項目)	B	B
	指定管理者の自己評価	業務は協定書および仕様書に則って遂行された。施設管理や人員体制に関しては、施設管理者(当番)の高齢化が進行しているものの、豊富な経験と確かな実績により、事故なく円滑かつ柔軟な対応が継続されていると認識している。また、地域に根差したチームワークが運営の基盤となっており、関係各所との連携も良好である。危機管理に関しては、日々の施設点検を継続的に実施するとともに、防災訓練を施設管理者(当番)および利用者と協働で行うことにより、施設内外の防災意識の向上とリスク対応力の強化に努めた。		
	施設所管課の評価	協定書、仕様書に基づき業務を行っていた。課題としては、やはり施設管理者の高齢化が残っている。豊富な経験と確かな実績というメリットはあるが、施設の存続のために解決すべき課題であることに変わりない。		
2 サービス等の内容や水準	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	B	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	B	B
	利用案内	ホームページ、パンフレット等は見やすく、適宜更新されているか	B	B
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	B	B
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	B	B
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	B	B
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	B	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	B	B
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	B	B
		参加促進への取組みを積極的に実施しているか	B	B
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	B	B
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	B	B
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	B	B
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	B	B
		仕様書等に従い、施設、設備の点検・管理を適切に行っているか	B	B

		備品台帳により記録が適切に保管されているか	B	B
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	B	B
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	B	B
	【2 総括】	サービス等の内容や水準に関する評価（標準19項目・本施設19項目）	B	B
	指定管理者の自己評価	当施設では、高齢の利用者が多いことを踏まえ、館内の各種表示を大きく見やすくするなど、だれもが使いやすい環境づくりを心掛け、施設管理者と協力しながら業務に取り組んでいる。定期利用に関しては、年間予約を可能とし、計画的に施設を活用できるよう体制を整えている。不定期での利用に対しても、空き状況を確認のうえ、円滑な予約対応が可能となっている。施設の空き情報はホームページを通じて公開されており、利用者の利便性向上にも寄与している。 また、マルシェの会場として使用され、SNS による情報発信を行うことで、施設の認知度が高まり、より多くの地域住民に利用していただくきっかけになっていると自負している。 施設の老朽化に関しては、日々の点検を怠らず、必要に応じて迅速な修繕・対応に努めている。市役所との連携も適切に行われており、報告体制も整っている。さらに、利用者の声を反映すべく館内に意見箱を設置し、管理体制やサービスの質の向上に繋げる取り組みも継続している。		
	施設所管課の評価	施設の予約状況などがホームページより確認できるなど利用者の立場で施設管理やサービス、情報提供ができています。 指定管理者の強みを生かした臨機応変な運営ができていた。		
3 収 支 等	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	B	B
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	B	B
	予算執行	収支計算書に則し、適正に予算を執行しているか	B	B
	経費節減	計画どおりの経費節減の取組み、またはその他の取組を実施し、その効果があったか	B	C
	収支状況	事業収支は妥当であるか	C	C
	【3 総括】	収支等に関する評価（標準5項目・本施設5項目）	C	C
	指定管理者の自己評価	当施設の利用者の多くは、利用料免除の対象となる団体である。しかしながら、近年では有料での利用者数が徐々に増加する傾向が見られる。 また、施設の経費利用に関しては、事務局内で情報を共有し、収支についても適切に管理されていると認識している。		
	施設所管課の評価	使用団体のほとんどが減免団体であることから、施設を維持するほどの利用料収入が期待できない。施設の維持費用の節減もおこなっているが、限界がある。		
【4 総合評価】		1～3の項目の総括による総合評価	C	C
5 （提案・成果・課題等） その他特記事項	指定管理者	令和6年度の運営も、協定書および仕様書に基づき、安定的かつ円滑に遂行された。特に、指定管理業務最後の本年度は個人・団体利用者数ともに前年度を大幅に上回り、施設利用料収入も順調に推移し、年間目標達成率は高水準となる成果が得られた。 施設管理については、受付業務・日常清掃・館内巡回を計画通り実施し、安心・安全な施設環境の維持に努めた。2月には利用者参加型の防火避難訓練を実施し、災害時対応力の向上にも取り組んだ。また、次年度に向けた年間予約の取りまとめを完了し、市への提出も行っており、継続利用への基盤整備が整った。 利用促進の提案として、マルシェの開催継続やSNSを活用した情報発信により、施設の認知度向上と新規利用者の獲得を図った。これらの取り組みは、地域とのつながりを深めるとともに、幅広い世代へのアプローチを可能としている。 一方で、施設の老朽化が進行していることは継続的な課題であり、三豊市指定避難所として機能出来るよう、修繕や維持管理において迅速な対応と市との連携を一層強化していく必要がある。また、高齢化が進む施設管理者（当番）の体制強化も重要な課題である。 環境配慮の面では節電活動にも力を入れており、省エネ案内掲示物等によって利用者への意識啓発を進めている。さらに、ご意見箱を活用して利用者の声を収集し、サービス向上への反映を今後も継続的に推進して行くことが大切である。 以上の取り組みを通じて、地域の皆様に親しまれる施設を目指し、さらなる改善と提案を行いながら、持続可能な運営が望まれる。詫間町松崎コミュニティセンターが、地域住民の利用満足度の向上に寄与するコミュニティ活動の拠点となるよう期待したい。		
	施設所管課	令和6年度は施設の情報発信が増え、稼働状況も増えているが、いまだその多くが減免利用者である。地域のコミュニティ施設の特性でもあるが、利用料の収入がほとんどなく、経費の縮減や利用者のニーズに対応したきめ細やかな質の高いサービスの提供など、指定管理者制度のメリットが思うように得られていない。 以上のことから、詫間町松崎コミュニティセンターにおける指定管理期間の満了日である令和7年3月31日をもって、当該施設における指定管理者制度による管理を取り止める。その後の管理は市の直営（業務委託）とする。		

※評価区分

①評価基準 ↓	A（優 良）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。 B（良 好）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。 C（課題含）：協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 D（要改善）：協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な内容である。
②【総括】 ↓	A（優 良）：評価基準がすべて B 以上であり、かつ A が過半数以上である。 B（良 好）：評価基準がすべて C 以上であり、かつ B 以上が 8 割以上である（上記以外）。 C（課題含）：評価基準がすべて C 以上である（上記以外）。 D（要改善）：評価基準に D が含まれている。
③総合評価	A（優 良）：【総括】がすべて B 以上であり、かつ A が 2 つ以上である。 B（良 好）：【総括】がすべて B 以上である（上記以外）。 C（課題含）：【総括】がすべて C 以上である（上記以外）。 D（要改善）：【総括】に D が含まれている。